

諏訪地方の経済概況速報

平成27年1月

(平成26年12月末調査)

平成27年1月28日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【 11月】	諏訪公共職業安定所管内	1.04 倍	0.06 ポイント
手形交換高【 12月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	6,560 枚	△54 枚
	金 額	9,080 百万円	1,061 百万円
	うち不渡り	枚 数	0 枚
	発生状況	金 額	0 千円
電力使用量【 12月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	56,648 MWh	△4.7 %
	高圧電力計	95,477 MWh	△2.9 %
	合 計	152,126 MWh	△3.6 %
車庫証明取扱件数【 12月】(諏訪地方合計)		774 件	△17.0 %
新設住宅着工戸数【H26年4月～11月】(諏訪管内)		722 戸	△24.3 %

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

12月は、7年4ヶ月ぶりに一時1ドル120円の円安水準となった。輸出企業は採算が改善するものの、家計や中小企業には食品や資材などの輸入品の値上げが懸念される中で、衆議院選挙が行われた。一方、世界情勢の変化による原油価格の下落で、ガソリンの値下がり傾向が進んだ。諏訪地方では、近年まれな多量の降雨量と降雪量を記録し、氷点下10度以下の強い冷え込みも続いた。スキー場は好調な出足となり、商業は除雪や防寒用品、年越し用品が活発に動いた。製造業はメーカーの生産調整の影響を受けた企業が見られ、雇用情勢は、全県や全国の有効求人倍率が高水準となる中で、諏訪地方ではやや停滞感が現れた。

●製造業 「自動車関連などで生産調整の影響強まる」

輸送用機械関連で自動車部品は、国内販売の低迷による生産調整やリコール問題の影響で受注が弱含む企業が見られる。回復の時期が見通しにくく、好調な複数の企業との取引などでカバーする構図もある。海外生産が主体となっていた仕事の一部国内に戻る動きもあり、取引先の状況によって受注状況が分かれている。金属部品加工も自動車関連の生産調整の影響を受けたり、短納期、小ロットが顕著になるなど総体的に受注に波が出ている。工作機械や専用機などの一般機械は、徐々に設備投資の動きが出て、医療関連などで好調さがあるが、大口受注が少なく、受注残が減少して先行きに不安を持つ企業もある。電気機械は、情報機器関連で一部フル稼働の企業もあるが、生産調整の影響を受けたり、低位安定の企業も多い。精密機械は、業界全体の量産物の受注が減少傾向となっている中で、量産物を一部国内へ戻すといわれる大手もあり、国内分の改善が期待される。高度な加工技術が必要な製品の受注は堅調に推移している。依然、多くの業種で原材料の仕入れ価格の高止まりなどによる経費負担増が続いている。原油安に関係する材料は値下がりしているものの、円安で相殺されてメリットが出ないという企業もある。

●商 業 「天候や衆院選が影響及ぼす」

諏訪地方では、12月の降水量が、長野地方気象台が観測を始めた1945年以降、最多となった。断続的な積雪があり、平均気温も平年を大きく下回ったことから、雪かきなどの除雪や防寒用品が月前半から売れ、ホームセンターなどでは融雪剤が品切れとなった店舗もある。食料品は月の後半から売上が増加した店舗が多い。年末需要で肉や野菜は仕入れ価格が上昇したが、月末には品薄となる店舗もあった。鏡もちセットや注連飾りなど正月用品も好調だった。価格競争が激化は続いている。ただ、衆議院選挙の影響でギフト商品の売り上げは伸び悩んだ。自動車販売は、諏訪地方の12月の車庫証明件数が774件で、前年同月比158件、17.0%減少した。前月比でも26件、3.3%減少した。

●観光・サービス業 「降雪でスキー関連は好調な滑り出し」

早い時期に降雪があり、降雪量も多かったことが、各地のスキー場や宿泊施設の集客につながった。自然雪でのゲレンデ整備ができ、団体、個人とも前年同月以上の入り込みになった施設が多い。地震の影響で、白馬方面から諏訪地方に場所を変更したスキー客も見られた。県外小中学校などのスキー教室が平日に行われ、売上に寄与している。上諏訪温泉は宿泊客数が前年同月比で増加している施設が多い。特に外国人旅行者は大幅に増加している。円安の影響が大きく、今後も中国や台湾、東南アジアを中心に、予約が多くなっている。忘年会は衆議員選挙の影響で中止になるケースがあった。

●建設業 「新設住宅着工戸数減少続く」

市町村からの12月の受注工事は、合計66件、482百万円となった。前年同月に比べ、件数は8件、契約金額は57百万円増加した。一方、県関係の12月の公共工事(地元業者受注分)は26件、519百万円だった。平成26年4月～12月の累計は112件5,018百万円で、前年同期の累計比で件数は19件減少し、契約金額は840百万円増加(20.1%)した。民間工事は、諏訪地方の11月の新設住宅着工戸数が82戸で、前年同月比37戸の減少(△31.1%)となった。平成26年4月～11月の累計比でも232戸の減少(△24.3%)となっている。大口工事が一服し、小口工事が主流になっている。現場代人の不足も続いている。

●雇 用 「新規求人減少などで停滞感出る」

諏訪地域の11月の有効求人倍率は、前年同月を0.06ポイント上回り、前月を0.05ポイント下回る1.04倍となった。前年同月を18ヶ月連続で上回ったが、新規求人が大幅減少し、常用が5月以来1倍を切るなど全体的に停滞感も出ている。長野県平均が1.15倍と6年7ヶ月ぶりの高水準となる中で、諏訪地区は最低だった。全国平均も1.12倍で22年6ヶ月ぶりの高水準となった。諏訪の新規求人(全数)は1,242人で前年同月比201人減少(△13.9%)した。要因別では「継続する人員不足」「業務量増大」が増加し、「欠員補充」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「製造業」「飲食・宿泊業」で増加したが、「生活関連サービス・娯楽業」「医療・福祉業」で減少した。新規求職者数は772人で、前年同月比56人減少(△6.8%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は41人で、前年同月比7人減少し、前月比でも5人減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	中国の景気減速などで、取引先企業の在庫調整の影響が続いた。
プリンター	米国や新興国向けは堅調だが、国内向けは価格競争もあり低位安定状況の企業が多い。
コンタクター・リレー	海外向けの受注の波はあるが、総体的に受注状況は安定して推移し、今後も安定的な見込みとなっている。

2. 輸送用機械

自動車	国内の自動車販売台数の伸び悩みやリコール問題などで、納入先の生産調整の影響を受けている企業が見られる。原材料と電気料等のコスト高に加えて、コストダウン要請も続く。トラック関連は順調に推移している。
船外機	北米、欧州、新興国向けの受注に大きな変化はなく、高水準で推移している。生産能力向上に向け、設備投資する企業もある。
その他	重機関連の部品加工は堅調に推移している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	省力化機械製造は、徐々に取引先の設備投資が始まり、受注が増加傾向となっている。検査装置、産業用ロボットの受注は増減あるが、大きな変化はなく推移している。医療機関連は好調となっている。
搬送用機械	原材料に占める輸入割合が高い食品関連はここ数カ月、以前に比べて減速している。大口受注は少なく、受注残も減少気味となっている。ただ、設備計画はあり、今後の回復は見込まれる。
金型	海外向けの受注が落ち着きを見せている。
ダイカスト	取引先によって区々となっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの11月の生産台数は約435万台。前月比2.1%減少し、前年同月比では25.8%の減少となった。11月の出荷台数は国内出荷約42万台、海外出荷約389万台の合計約431万台となり、前月比5.1%減少、前年同月比では27.6%減少となっている。
レンズ	総体的に受注が減少傾向の中で、研究機関向けレーザー用レンズ、医療機器用レンズ、監視カメラ用レンズの受注は堅調に推移している。車載用も回復傾向が見られる。

5. 繊維

ニット

高級品を中心に、例年より受注が増加傾向となっている。12月からは春夏物の生産が始まっている。

6. 食品

寒天

今季の製造は昨年より早く、天候も良く滑り出しは好調。良質な寒天製造が期待できる。ただ、天草の不作が伝えられ値上がりが懸念される。

味噌

原材料の価格上昇が収益に影響しており、総体的には売上減少傾向が続いている。

7. 製材

諏訪地方の11月の木造新設住宅着工戸数は78戸で、前年同月比26戸減少(△25.0%)だった。

8. 建設

公共工事

12月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所23件、林道治山工事関係1件、長野国道事務所等国関係1件、その他土木工事1件の合計26件で、契約金額は519百万円だった。平成26年4月～12月の累計は112件、5,018百万円となり、前年同期累計を上回った。

市町村からの12月の受注工事は、建築工事2件11百万円、土木工事及び下水道工事52件429百万円、その他工事12件42百万円の合計66件482百万円となった。急激に単価が上がっているため、設計見積もり時点と実際の入札時点でのタイムラグがあり、入札不調が多くなっている。3月工期の公共工事現場代人のやりくりで苦慮する企業もある。億単位の大口工事がほぼ終了して小口工事が主流となり、今後は被災地への予算が優先されることから、工事件数の低迷も予想される。

民間工事

諏訪地方の11月の新設住宅着工戸数は82戸で、前年同月比で37戸の減少(△31.1%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は30戸減少の67戸、「貸家」は9戸減少の10戸、「分譲」は2戸増加の5戸となった。平成26年4月～11月の累計は722戸で、前年同期累計比では232戸の減少(△24.3%)となっている。

長野県内の11月の新設住宅着工戸数は967戸で、前年同月比19.4%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が607戸で28.2%減少、「貸家」は282戸で5.2%増加、「給与」は5戸で400%増加、「分譲」は73戸で15.1%減少した。住宅着工は減少しているが、低価格住宅の需要は増加する動きもある。また、冬場の受注は確保しているものの、仕入れの支払いが先行して、資金繰りが厳しくなると見込む企業もある。

9. 商業

衣料	12月は早い寒気となった天候の影響で、防寒着の売れ行きが伸びた。年末年始に帰省して親と一緒にリクルートスーツを購入する動きもある。
食料品	肉や野菜、鮮魚は年末需要で高値となった。円安による原材料の高騰で食品の値上がりが始まり、加えて異物混入事件があり、売上増加が見込めないとする企業もある。
家電製品	冷蔵庫、洗濯機などの販売は低調に推移しているが、12月は4Kテレビが動いた店舗があった。
自動車	県内の12月の新車新規登録台数は、登録車が5ヶ月連続で減少し、軽自動車は4ヶ月連続で増加した。全体では前年同月比208台増加(2.2%)の9,668台で、5ヶ月ぶりに増加した。
ホームセンター	降雪と気温の低下で、ストーブなどの暖房用品や雪かきなどの除雪用品、融雪剤の売り上げが急速に伸びた。

10. 観光

上諏訪温泉	12月の宿泊人数は施設によって前年同期比70%~160%台で、総体的に増加した。円安の影響で、外国人観光客は前年比で大幅増加している。ネットに上諏訪温泉用ページを開設した効果も出始めている。
蓼科・白樺湖・車山等	スキー場が早くからオープンし、降雪量もあったことから、前年以上の入り込みとなった施設が多い。スキー教室で訪れた中学生が数年後、リピーターとなるケースも見られる。
下諏訪温泉	諏訪大社下社周辺の観光客減少の影響を受け、宿泊客数は施設によって増減がある。企業や団体の忘年会は減少傾向だった。
諏訪大社	上社・下社合わせた二年参りを除く12月の参拝者数は約2万4千人で、前年同月比では約8千人の減少(△25.0%)となった。積雪や冷え込みの影響があった。

●企業からのコメント

- ・ 製造業全体で「団塊の世代」の従業員が退職し、個々が「考える」「工夫する」ということを行わなくなっていると感じる(輸送関連部品製造業)。
- ・ 海外展開が完結しており、円安の効果は国内企業には少ない。春闘は賃上げムードだが、地域企業への波及は難しいのでは(電気機械関連製造業)。
- ・ 家庭で行わなくなった影響か、鏡もちセットなどセット物が売れる傾向になっている(商業)。
- ・ 昨年並みの雪が降ると、仕事前の雪かきがあり、工期が遅れてしまう(建設業)。
- ・ 一昨年は中央道笹子トンネル事故、昨年は大雪による交通マヒなど外部要因で営業上のビハインドがあったが、今シーズンは何もないことを願う(観光業)。